

砂防学会誌投稿原稿 - 刷り上がりイメージ -

Article of the Journal of Japan Society of Erosion Control Engineering: Template

タイトル (和) は、太ゴシック、サイズ 14。
タイトル (英) は、Times か Times Roman, Times New Roman (以下、Times) サイズ 11。
固有名詞以外小文字。副題が必要な場合、和文は副題を全角ハイフンで囲み、英語は
半角コロン+半角スペースの後に副題を始める。
例 (和) 題名 - 副題 - ; 例 (英) Title: subtitle

砂防 太郎*
Taro SABO

見出し (章) は太ゴシック、サイズ 11。
1 行空けてから見出し (章) を記す。
本文は明朝、サイズ 9。

著者名 (和) は、明朝、太文字、サイズ 11
著者名 (英) は、Times, サイズ 9, 姓はすべて大文字

1. はじめに

このフォーマットは、砂防学会誌に投稿する場合に著者が刷り上がりイメージを把握し、図表等の大きさ (文字の見やすさ) と配置、超過ページの有無などおおよその状態を知ってもらうためのものです。カメラレディー原稿を作成提出してもらうものではありません。掲載決定後、実際の印刷に当たっては、印刷会社が提出された電子データや原図等を編集して製版します。刷り上がりイメージはその際の見本として使用しますが、印刷段階でこのイメージと異なる (図表の位置が多少変更になるなど) こともあります。掲載決定後に印刷会社でレイアウトして、著者校正を行います。したがって、最終ページ数はその時に決定されることを了承して下さい。

原稿の作成にあたっては、「砂防学会誌投稿要領」および「砂防学会誌執筆要領」を確認して、適切な体裁の原稿の作成をお願いします。図・表・写真を含めた原稿を「刷り上がりイメージ」として作成し、そのコピー (論文・報文・ノート・総説は 5 部、その他は 3 部) を提出してください。

2. 原稿体裁

刷り上がりイメージは A4 サイズ、余白は上下 15 mm、左右 18 mm とします。1 ページ目の表題等の構成は原稿種別毎に異なりますので、適切なテンプレートをご利用ください。

総説・技術ノート・災害報告の原稿は次の構成とします。ただし、3)、4) は任意です。記載しない場合に本テンプレートを

- 1) 表題 (英文併記)
- 2) 著者名・所属 (英文併記、全著者を記載、代表者 e-mail)
- 3) 英文要旨
- 4) 英文キーワード (3~5 語程度)
- 5) 本文 (和文または英文のいずれか)
- 6) 引用文献または参考文献

表題等の下に 3 行空白後、本文を始めて下さい。本文は 25 字の 2 段組とします。2 ページ目以降は 25 字×50 行×2 段組で、図・表・写真は本文の適切な箇所にオブジェクトを挿入して下さい。原稿の刷り上がりページ数は次のとおりです (図・表・写真含む)。総説・災害報告: 8 ページ以内 (超過ページを含めて最大 12 ページ)、技術ノート: 4 ページ以内 (超過ページを含めて最大 8 ページ)。投稿者が負担する費用については、「砂

防学会誌投稿要領」をご確認ください。

脚注は、フォント明朝、サイズ 8

1 ページ目のフッターには、著者所属 (和文、英文) が入ります。複数の著者で投稿される場合にはフッター高さが変わることをご承知下さい。

3. 本文の刷り上がりイメージ

2 ページ以降は本文、図表、写真を適宜組み合わせで入力して下さい。

見出し（節・項）の数字は Arial, タイトルはゴシック. 前に空行を入れる。

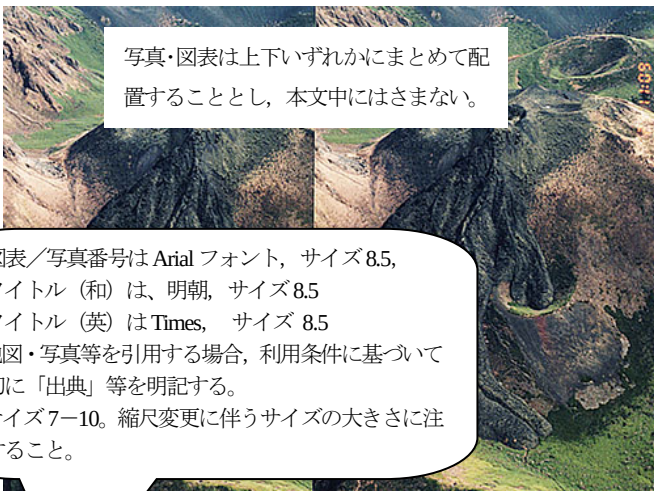
5 3.1 図表

図や写真は著者が挿入したい個所にオブジェクトか、拡張メタファイル形式で貼り付ける。図中の点や線、軸の目盛等は明瞭に分かるように大きさ等に注意して、単位系も明示して下さい。単位系は、本文・図表を含め、SI 単位系を基本とします。

10 表を1段組で用いる場合には、なるべくページ最下部にレイアウトすることをお勧めします。

1 ページ全面を図表に用いる場合は、そのページの設定スタイルを変更して下さい。上下左右に所定の余白が残るように図表の大きさを適切に調節して下さい。

15



- ・図表／写真番号は Arial フォント、サイズ 8.5,
- ・タイトル (和) は、明朝、サイズ 8.5
- ・タイトル (英) は Times, サイズ 8.5
- ・地図・写真等を引用する場合、利用条件に基づいて適切に「出典」等を明記する。
- ・サイズ 7-10. 縮尺変更に伴うサイズの大きさに注意すること。

写真-1 実体視できる溶岩流のイメージ

Photo 1 Hypostatized image of lava flow

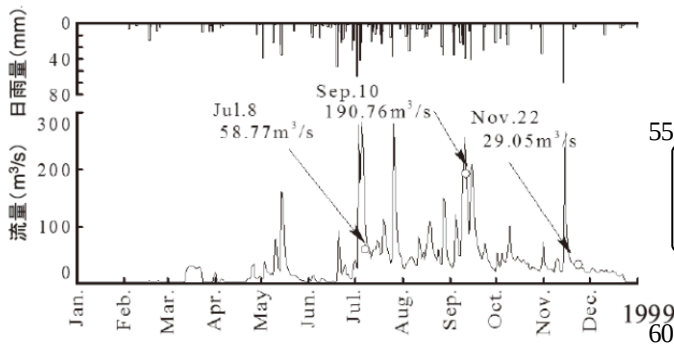


図-1 雨量と流量の関係¹⁾

Fig. 1 Relationship between rainfall and runoff

3.2 数式

数式の記入は、下のサンプルのように数式フォームを用いていただくのが最良です。1行に収まらない場合には、2行に分けて記入し、式番号は数式の直後から破線を引いて行末に示します。数式を本文中に記述する場合は、 $y=a/x$ などのように行内に収めて下さい。

$$\frac{\partial M}{\partial t} + \beta \frac{\partial}{\partial x}(uM) + \beta \frac{\partial}{\partial y}(vM) = -gh \frac{\partial H}{\partial x} - \frac{1}{\rho_T} \tau_{bx} \dots \dots \dots (1)$$

30 3.3 見出し、箇条書き、句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

- 第1順位 (章) 1. 2. 3. ...
- 第2順位 (節) 1.1 2.2 3.3 ...
- 第3順位 (項) 1.1.1 1.1.2 1.1.3 ...
- 箇条書き 1) 2) 3) ...

見出しの後は改行し、全角1字空けて本文を書き始めます。

なお、第1順位 (章) の前は1行空けて下さい。

句読点は、カンマ (,) と丸 (.) を用いてください。なお、カッコなどには全角1字分を充ててください。

40 3.4 引用文献・参考文献

文献を引用する場合、引用文献方式と参考文献方式で形式が異なりますので注意してください。

3.4.1 引用文献方式の場合

本文中で例えば (芦田ら, 1978) と書き、末尾に次の形式で

45 記載します。

芦田和男・高橋保・水山高久 (1978) : 山地河川の掃流砂量に関する研究, 砂防学会誌 (新砂防), Vol.30, No.4, p.9-17

3.4.2 参考文献方式の場合

図-1 のタイトルのように参照箇所を片括弧で示し、末尾に

50 次の形式で記載します。

- 1) 堀田紀文・厚井高志 : 山地からの土砂流出の変遷の実態 - 流域の土砂貯留量の変化に着目して -, 砂防学会誌, Vol.63, No.5, p.52-61, 2011

55

日本語の場合「・, : -」等は全角、巻号頁の「.-/」等は半角。英語の場合、半角記号と半角スペースを用いる ; 例) 「: title, Vol.1, b : c」。web ページの引用の詳細は砂防学会誌執筆要領を参照してください。

- ・図表／写真番号は Arial フォント、サイズ 8.5,
- ・タイトル (和) は、明朝、サイズ 8.5
- ・タイトル (英) は Times, サイズ 8.5
- ・地図・写真等の著作物を引用する場合、利用条件に基づいて適切に「出典」等を明記する。
- ・フォントサイズは 7-10 ポイントとする。縮尺変更に伴うフォントサイズに注意すること。

表-1 サンプル表

Table 1 Sample table

Directions	A	B	C	D	E	F	G	total
North	10	10	20	5	6	11	4	65
East	5	4	1	2	2	1	1	16
South	18	11	1	5	11	1	7	54
West	4	4	3	2	2	7	1	23

20